

丹精込めて育まれた食材の 広がる魅力に感動

第19回

杉岡 誠 村長の

愛楽故郷味

あいらくふるさとみ



この2月は、日時が重複して参加出来なかったイベントを含め「ふるさと」の担い手の皆さまによる村産食材の溢れ出る魅力発信が、これまでになく盛りだくさんでした。

また生産者さんたちの意欲や煌めきも、多方面の方々にお知りいただいた月間となったと思います。

新年度は、さらに多くの方々に村産農産物、ひいては飯館村民の魅力、「ふるさと」の担い手」による創意工夫をより知って、より感じて、より楽しんでいただけるよう、努めてまいります。

24日には第2回「ワクワクあったかマルシェ」がもりの駅まごころにて開催されました。今回は6次化をテーマに多くの生産者さんが定番商品から新商品まで数々の商品を出品されましたが、特に国内で唯一、飯館村でのみ栽培しているもち米品種「あぶくまもち」の加工品が多かったことが印象的です。

23日には料理家の栗原はるみさんとシェフの大宮勝雄さんによる「オンライン料理教室」が開催され、2年前の村夏まつりにもお越しいただいたお二人に、今回は村産黒毛和牛と凍み餅を使つての多彩なお料理をこ教授いただきました。「まいたけ牛丼」「牛すじのカレーライス」「凍みもちのチリソース茶碗蒸し」「凍みもちのチーズカツレツ」と、そのどれもが創意工夫と愛情に包まれた絶品でした。村産食材の良さを最大限に引き出し、生産者さんが丹精込めて育んだ食材達に新たな「価値」を与えてくださる貴重なひとときとなりました。

駆け足でやってきた春の空気が漂う如月。2月の1か月間、仙台市にあるルート227カフェさんが「いいたてフェア」と銘打って、村産食材を使用したメニューを提供してくださいました。私も、ポスター、パンフレットに加えPR動画で飯館村「色」となったお店にお伺いして、「ハイカラ」なカフェメニューに変身した村産黒毛和牛、いいたて雪つ娘かぼちゃ、凍み餅をいただく中、他のお客様が飯館村メニューを楽しんでいる姿を見て、ついつい頬が緩んでしまいました。

18日の復興庁による情報発信事業「福島を味わう 食文化の結びPROJECT in 福島」では、春を前にして豊富な食材が揃う福島県の食の「底力」と、その滋味深い味わいに感動を覚えました。

そんな人と人との繋がりを大切にして2024年もままでに過ごしていきたいです。

駆け足でやってきた春の空気が漂う如月。

飯館村地域おこし協力隊がつづる

いいたて DIARY

最終回



今月のライター

地域おこし協力隊 横山 梨沙 さん

協力隊の横山です。

まもなく年度末に差し掛かってきますが私もお店をオープンしてもうすぐ1年! 時の流れは早いものです。

振り返ると村の方にも沢山来て頂き、一番多いコメントが「一人でやってんの!?!」といった驚きの声です(笑)「よく一人で頑張ってるねえ」と言われますが、実際にはお客様である皆さんに協力して頂いてお店が成り立っていますし、時には村の方に野菜をお裾分けして貰う事も。なので私だけでなく皆んなで作り上げた空間だと私は感じています。

そんな人と人との繋がりを大切にして2024年もままでに過ごしていきたいです。

いいたて DIARY 最終回に寄せて

問 村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1622

令和2年6月号から3年6か月にわたり連載してきた「いいたてDIARY」。飯館村地域おこし協力隊として活躍した松本奈々さん、二瓶麻美さん、大槻美友さん、松尾洋輝さん、そして横山梨沙さんがリレー形式で担当し、それぞれの活動の様子をお伝えしてきました。ご協力、そしてご愛読をありがとうございました。「いいたてDIARY」は今回をもって連載終了となりますが、村ではフリーミッション型の地域おこし協力隊を引き続き募集しています。現役隊員の横山さんの他、卒業した隊員の皆さんも村内で活躍中です。関心をお持ちの方はぜひ一度お問い合わせを。

■ひとのうごき

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の名前	行政区
三浦 大和 くん	勝 幸 さん 智 世 さん	深 谷

HAPPY BIRTHDAY!

ひとのうごき 令和6年2月1日現在

人 口	今月 (前月比)	1月1日～31日までの人口動態
●男	2,358人(+1)	転入 8人
●女	2,316人(-13)	転出 13人
計	4,674人(-12)	出生 0人
世帯数	1,816戸(+4)	死亡 7人
		(住民基本台帳人口)

(1月21日から2月20日までに届け出のあったものを掲載)

※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

おくやみ

氏 名	年齢	行政区
菅 野 仲 治 さん	96	蕨 平
菅 野 重 廣 さん	66	二枚橋・須萱
八 巻 昭 代 さん	80	草 野
佐 藤 ツキ子 さん	85	上飯樋
久保内 マサイ さん	92	大久保・外内
佐 藤 多美子 さん	77	白 石
阿 部 サワ子 さん	90	佐 須
菅 野 眞理子 さん	72	比 曽
佐 藤 ミドリ さん	95	前田・八和木

ご冥福をお祈り申し上げます

最終回 能登半島にて

村民広報委員
ふじおさんの
いいたて 宝さがし



今回私は、地震災害に見舞われた能登半島に、何か役に立つことはないかと思い、出かけてきました。行ってみると、東日本大震災を思わせるような、凄まじく想像を超える光景ばかりでした。

何年か前に飯館村役場に在職されていた山本実さん(石川県宝達志水町)を訪ね、瓦礫の片付け、壊れかけた家からの家具の持ち出し等の作業を手伝いました。

七尾市、穴水町、珠洲市をまわってみると、すべて断水でトイレも使えず、災害時にはいかに水が大切であるかを思い知らされました。友人、知人、そしてボランティアの方々が、皆一緒になって行う共同作業の「結い」というものが、どんなにか人間の生活において大事なことであり、必要不可欠であるかも知ることができました。

私たちの日々の中で普通の生活を普通にできるということが、本当に幸せなことであり、何にも増しての**宝物**なんだと感じてまいりました。たった数日間のお手伝いではありましたが、地震に見舞われた方々の1日も早い復興と、1日も早く普通の生活に戻られることを願うばかりです。



山本 さん

2年間の人物を訪ねての「宝探しコーナー」は今月をもって完結にしたいと思います。ご愛読ありがとうございました。(F)